



橋梁工学研究室

歴史も、設備も、仲間も、惜しみなく。

— すべてを次の世代に「橋」を架けるために —

橋梁工学研究室のメンバー

【教員紹介】



教授：山口 隆司（Takashi YAMAGUCHI）

<学歴・職歴>

1991年 3月 京都大学工学部土木工学科卒業
1993年 3月 京都大学大学院工学研究科修士課程土木工学専攻修了
1996年 3月 京都大学大学院工学研究科博士後期課程土木工学専攻修了
1996年 3月 京都大学博士（工学）“Fundamental Study on High Strength Bolted Tensile Joints”
2003年 4月～2007年 3月 大阪市立大学 大学院工学研究科都市系専攻 助教授
2007年 4月～2009年 3月 大阪市立大学 大学院工学研究科都市系専攻 准教授
2009年 4月～2022年 3月 大阪市立大学 大学院工学研究科都市系専攻 教授
2022年 4月～現在 大阪公立大学 大学院工学研究科都市系専攻 教授



准教授：森山 仁志（Hitoshi MORIYAMA）

<学歴・職歴>

2014年 3月 大阪市立大学 工学部 都市学科 卒業
2017年 9月 大阪市立大学大学院 工学研究科 都市系専攻 後期博士課程 修了
2017年 10月 大阪市立大学大学院 工学研究科都市系専攻 特任助教
2018年 10月 熊本大学 大学院先端科学研究部 社会基盤環境部門 助教
2022年 4月 徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 講師
2025年 9月 徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 准教授
2026年 4月～現在 大阪公立大学大学院 工学研究科都市系専攻 准教授

研究室構成

研究室の構成: 計27人(内 社Dr 5人, Dr 5人 M2 5人, M1 5人, B4 5人)

山口教授, 森山准教授, 古田特任教授, 三ツ木客員教授, 北見事務補佐

【学生紹介】



B4



M1



M2



Dr



他の研究室と比較
して**大勢**！！

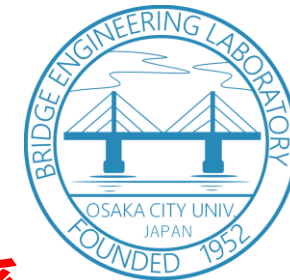
→ **先輩・院生（修士・博士学生）に相談しやすい**

橋梁工学研究室とは

橋梁工学研究室は1952年から存在する**歴史ある研究室**

(大阪市立大学の発足(1949年)の2年後に設置)

関西地方の橋を中心に**多くの長大橋**の建設・維持管理に**古くから関係**



天保山大橋



明石海峡大橋



新木津川大橋



此花大橋

関空連絡橋



鋼橋接合・補修・維持管理の実験×解析拠点 学界トップクラスの研究室

橋梁工学研究室の特徴・強み

特徴

- ◆ 企業との共同研究が多い
- ◆ 関西のインフラと近い(教育と研究が密接に関係しており、自然に実践力が身につく)

橋梁建設プロジェクトの一端を担うことができる

強み：「実務につながる本物感」を体験

- ✓ 研究を通じて橋梁工学の実践力が身につく
- ✓ 実験・解析・現場理解を往復しながら学べる
- ✓ 鋼橋・接合・補修・維持管理を本気で学びたい人に向く
- ✓ 忙しい時期はあるが、その分だけ力がつく研究室

【大規模な実験】



総額1000万以上も・・

【大手企業との共同研究】

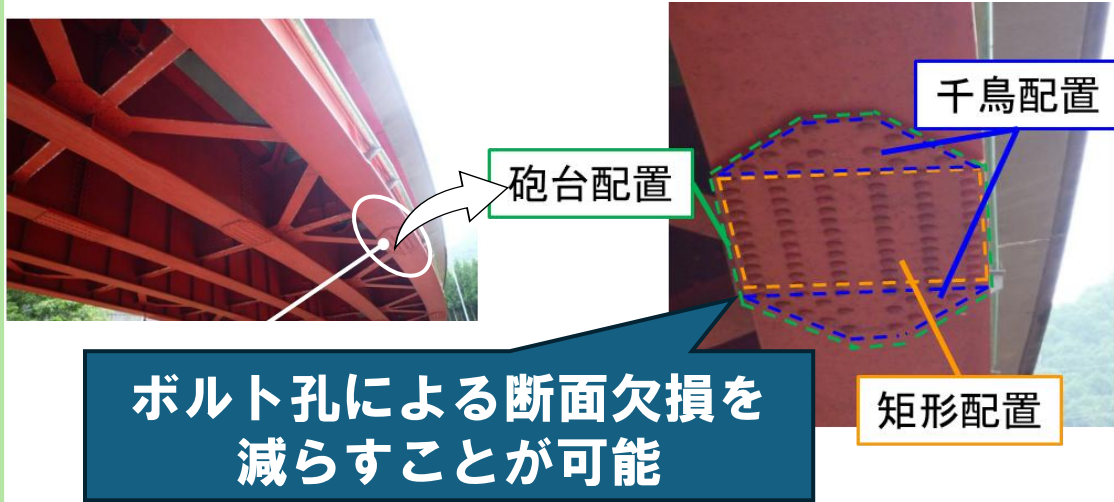


橋梁工学研究室の研究テーマ

- 合理的な橋梁をめざして
- 地震に強い橋梁を目指して
- 新しい橋梁形式・構造部材の開発および試設計
- 長持ちする橋梁を目指して
- 周辺環境に配慮した既設橋梁の再生と創造

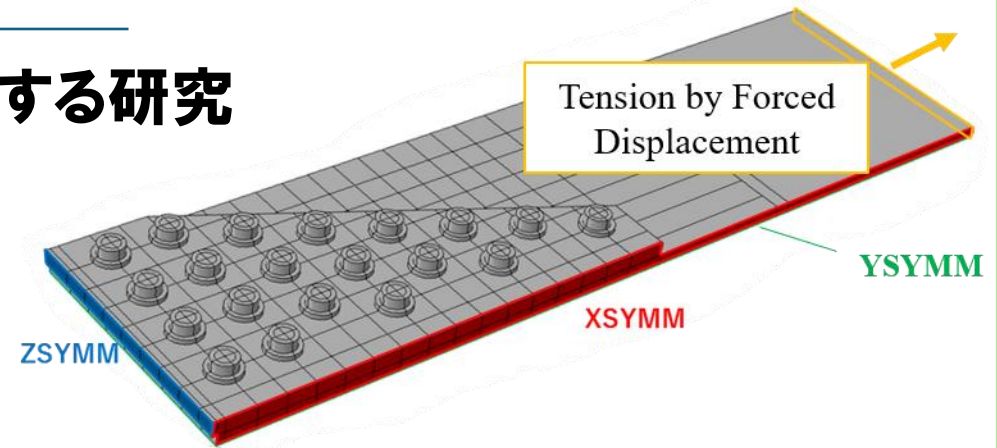
橋梁工学研究室の研究内容①

➤ 砲台配置高力ボルト摩擦接合継手の降伏挙動に関する研究

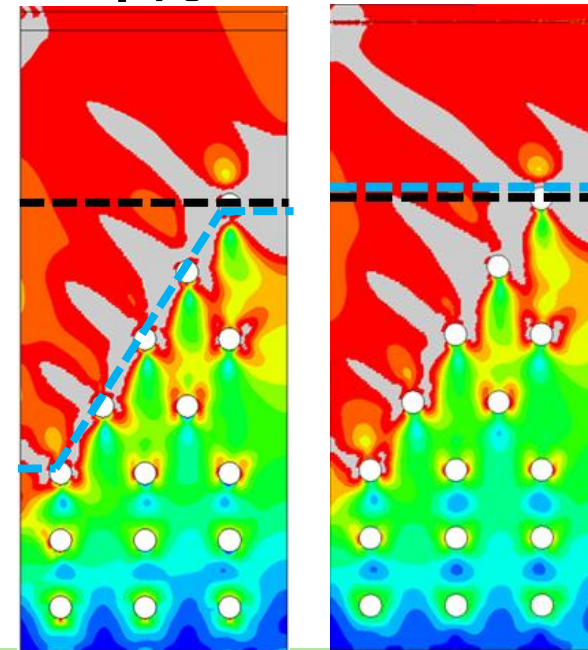


継手端部側のボルト本数を減らした配置方法であり、
現在の設計方法が適切なのかわからない！

より高精度な設計法の確立のために、どのように
荷重伝達が行われるのか検討



・解析を行い、降伏挙動(塑性化の進展)を確認



確認項目
● 降伏荷重
● 降伏モード
● 各ボルトの荷重分担
etc...⁷

橋梁工学研究室の研究内容②

➤ 仮橋用覆工板に関する基礎的研究

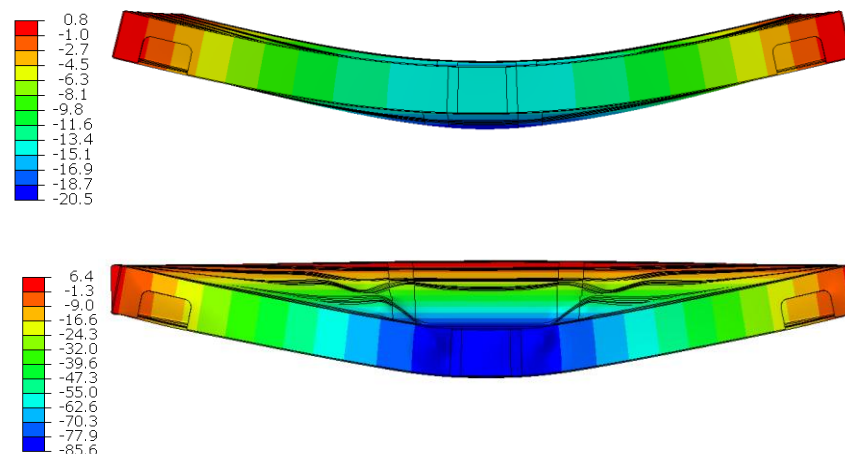
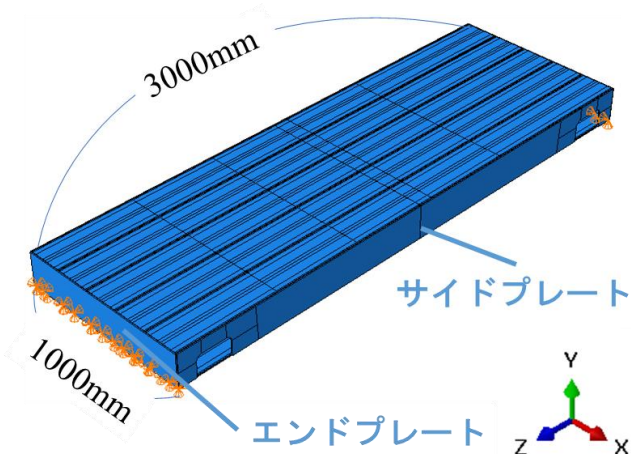
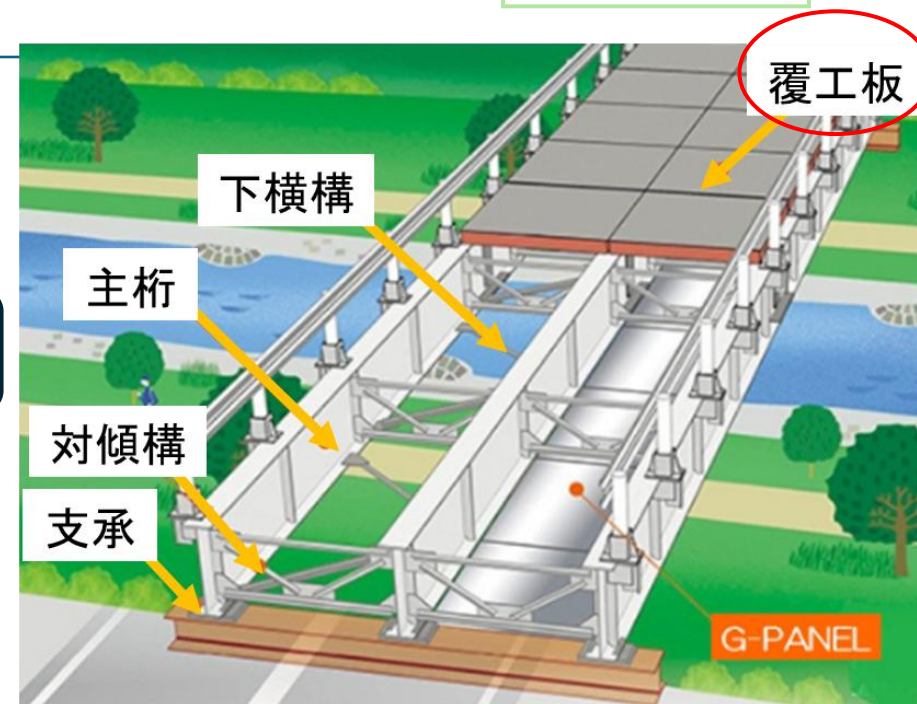
仮橋：一時的に交通を確保するために設置される仮設橋梁

目的：仮橋を中長期供用したい(20－30年程度)

課題：中長期供用する場合の安全性の検討が不十分

➡ **仮橋特有の部材である覆工板に着目**

■ 解析を行い、覆工板の力学的挙動を確認



確認項目

- 最大荷重
- 全体変形挙動
- 荷重分担

etc...

研究室の雰囲気ーゼミー

専門基礎知識を学ぶ

ゼミA

前期 週に1回

学生のみ

有限要素法についての勉強会

構力ゼミ

後期 週に1回

B3のみ

構造力学の復習をする

院試ゼミ

院試まで 週に3回

B4のみ

専門応用力をつける

ゼミB

通年 1ヶ月に1回

全員

担当者が論文集などから文献を選び、
内容をまとめて紹介する

研究を深める

ゼミC

通年 不定期

全員

卒論・修論に関する進捗状況の報告。



「一人で勉強・研究する」のではなく、「**研究室全体で力をつける**」ことを重視！！

研究室の雰囲気ー設備ー

教室

- 高速ワークステーション4台および様々な構造解析ソフトを所有
- 打ち合わせ設備完備
- 学生全員に個人用パソコン有
- 多数の書籍



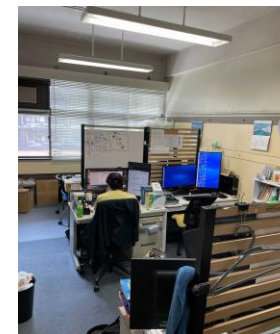
学生部屋 C-309



社ドク部屋 C-205



解析&
打合せ部屋 C-301



森山先生 &
ドクター部屋 C-308

実験設備

- 1000kN 万能試験機
- 10t,50t,100t 電気油圧サーボ式疲労試験機
- 3次元振動シミュレーター



書庫 D-111



実験室 D-114



大型実験室

研究室の雰囲気ーコアタイム他ー

コアタイム:研究室にいる時間

10時～16時の6時間 + 前後2時間の計8時間

時間	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
例1		←								→				
例2			←								→			
例3				←								→		



特に忙しい時期

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
B4									卒論執筆			
M1				JSBCなど								
M2									修論執筆			

新歓

BBQ

ゼミ旅行

追いコン



JSBC

橋梁工学研究室の魅力

- ・ **チューター制**で先輩が研究・解析・学生生活まで丁寧にサポート
- ・ 院試ゼミ・構力ゼミなどがあり、**みんなで学びながら成長**できる
- ・ 卒研で始めたテーマを修士でさらに深く掘り下げられる
- ・ 学会発表・論文執筆・国際発表まで経験できる
- ・ 山口先生・森山先生の2名体制で指導を受けられるため、**多角的な視点から研究を進められる**
- ・ OB・企業技術者・博士学生との交流が多く、**実務的な考え方が身につく**
- ・ 橋梁の設計・維持管理に近く、**生きた視点**を学べる
- ・ **就職後に差がつく専門性**が身につく
- ・ 分厚い研究室同窓会組織（**仕事でもそれ以外でも頼りになる**）

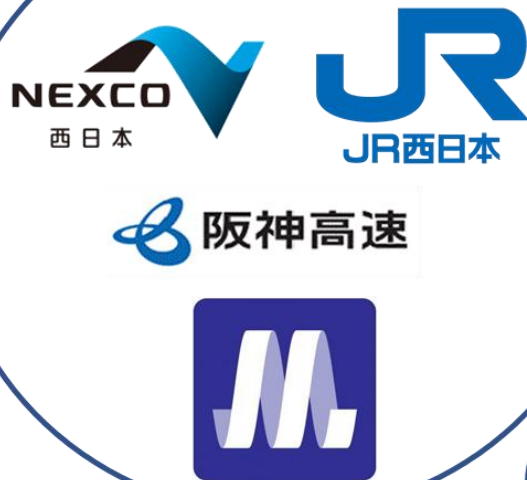
同窓会は毎回100人以上が参加！

進路

研究室でたくさんの知識と技術を培って社会に貢献できるエンジニアになれる！

【就職先・進学先例】

高速道路 鉄道



建設コンサル タント



橋梁メーカー



ゼネコン



他大学 進学

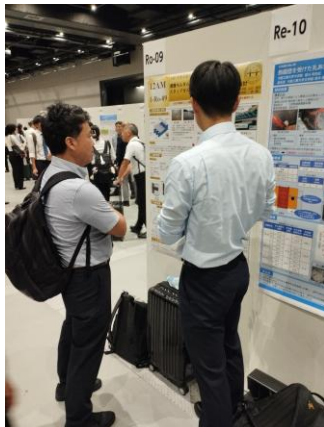


大学教員

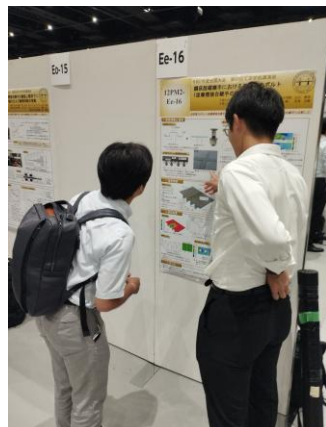
博士号取得後
研究者となる方も！

橋梁工学研究室での発表やイベント

【学外発表】



全国大会



海外学会発表@ドイツ

【研究以外のイベントも】



BBQ



ソフトボール大会



ゼミ旅行in福井



山口教授，森山准教授より



橋梁工学研究室では、橋の設計・建設・維持管理に関わる課題に、実験と解析の両面から本気で取り組みます。決して楽な道ではありませんが、その分、**構造を見抜く力、考え抜く力、社会に通じる実践力**が確実に身につきます。

チューター制や各種ゼミ、2名体制の指導のもとで着実に力を伸ばし、卒研から修士、学会発表、論文、国際発表へと挑戦できます。

将来に差がつく専門性と実践力を身につけたい人を歓迎します。

相談や興味がある方は...

ぜひ一度、研究室 (C309) に来てみてください！！

4回生やM1, M2がいつでも話を聞きます！

(E-mail: sg22291x@st.omu.ac.jp)

SNSやってます！！（質問・コメントOK）

橋梁工学研究室のイベントなどを紹介！！

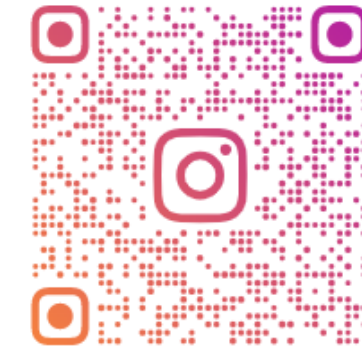
ホームページ



facebook



検索ワード：
大阪公立大学
橋梁工学研究室



OMU_BRIDGE

アカウント名：
omu_bridge



本音コメント（現在橋梁研所属の学生から）

良くも悪くも、噂どおりの研究室です。海外での学会発表や橋梁模型コンテストへの参加など、他の研究室ではあまり経験できない貴重な機会が多くあると自信を持って言えます。その分、忙しい時期もありますが。体力と覚悟があり、特に橋梁や構造物に興味のある方は、ぜひ橋梁工学研究室への配属をお待ちしています！
M2

研究室に入る前は、「ちゃんと研究ができるかな」と不安がありました。でも、実際は先輩方が優しくサポートしてくださり、安心して研究を進められています。大変なこともありますが、その分学ぶことも多く、とても充実した研究室生活を送っています。少しでも橋梁に興味があれば、ぜひ一緒に研究活動をしましょう！
M1

B4にはチューターがつくので、研究のことなど相談したいことがあれば気軽に相談できます。3回生のころに比べるとアルバイトに行ける回数は減ってしまいましたが、研究室後にアルバイトに行くこともできています。また、院試ゼミがあり、過去問や解答も豊富にあるので、大学院進学を考えている人にはおすすめです。発表する機会もたくさんあり、自分を成長させるにはもってこいの研究室だと思うので、興味を持ってくれると嬉しいです！
B4

先生や先輩との距離が近く、困ったことがあれば気軽に相談できる、とても温かい研究室です。やることは比較的多いですが、その分、社会に出てからも役立つ経験や知識が身に付くと思います。ぜひ一緒に楽しく研究しましょう！
M2

最初は、知識0で何もわからず不安でしたが、先輩方や先生のサポートのおかげでなんやかんやで頑張っています！大変なこともありますが、一緒に頑張りましょう！
M1

配属された当初はまず、これまで学んできた、構造力学を中心とした専門分野への理解が十分ではなかったことに気付かされ、焦りました。しかし、ゼミを通じて基礎から勉強しなおす機会が設けられているため、自ずと理解を深めていくことができました。それに加えて、解析ソフトの使い方など、新たに覚えなければならぬことも出てきますが、その都度先輩が丁寧に教えてくださるため、心強かったです。やることは決して少なくありませんが、その分、橋梁に関する知識だけでなく、物事を考える力も大きく磨かれる環境だと感じています。ぜひ、共に橋梁の研究をしましょう。
B4